

令和3年3定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和3年9月29日

質問者 日本共産党 真下 紀子 議員

担当部課 総合政策部政策局参事

質問要旨	答弁要旨
<p>一 新型コロナウイルス感染症対策等について</p> <p>(一) 菅政権のコロナ対策の評価等について</p> <p>感染症対策の基本は、徹底した検査の実施と感染者の早期隔離・保護で感染源を断つことです。しかし、菅政権は、ワクチン頼みで、感染症対策の基本を無視し続けてきました。</p> <p>また、東京五輪の開催強行などが感染対策と矛盾したメッセージとなったと専門家からも指摘され、首都圏を中心に感染爆発と医療ひっ迫を招きました。さらに、原則自宅療養への方針転換で、8月だけでコロナによる在宅死亡は250人にのぼり、国民の批判の声により退陣に追いこまれたといえます。</p> <p>コロナ感染が1年8か月経っても、収束の目処も見えず、緊急事態宣言が続く事態を招いた菅政権のコロナ対策を知事はどう評価するのか伺います。</p> <p>(二) 知事の判断について</p> <p>知事は、7月末に、すでに緊急事態宣言水準の感染状況だと認識していたにもかかわらず、8月2日からまん延防止等重点措置に甘んじ、抑制効果を見ることなく8月27日に緊急事態宣言に切り替わり、9月末まで延長としました。知事の甘い判断と後手に回った対応が、長期化の要因と言わざるを得ません。真摯に反省し、今後の対策に活かすべきではありませんか。伺います。</p>	<p>【知事】</p> <p>これまでの感染症対策についてであります。国においては、新たな変異株の影響などにより感染拡大が繰り返される厳しい状況の中、一時、供給が限られたものの自治体と連携したワクチン接種体制の整備や新たな治療薬の導入により、高齢者や基礎疾患をお持ちの方々などの重症化の防止につながる取組を進めてきたものと認識しています。</p> <p>一方で、感染症対策に関して、感染症法に基づく病床確保が十分ではなかったと総理自身も述べていることに加え、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の迅速かつ機動的な発動、ワクチン検査パッケージの運用に向けた技術実証や国民的議論など、引き続き対応が必要な課題もあるものと認識しています。</p> <p>【知事】</p> <p>感染拡大への対応についてであります。道では、国に対し、まん延防止等重点措置の要請を行う中、7月29日、札幌市内における厳しい感染状況を国に伝え、地域を限定した緊急事態宣言の考え方を含めて協議を行ったところでありますが、8月2日から、本道にまん延防止等重点措置が適用され、その後、8月25日に、緊急事態宣言を適用するとの判断が行われたものであります。</p> <p>この間、道としては、国と継続的に協議を続けながら、感染防止対策の徹底や人流の抑制、さらには、ワクチン接種の促進など、その時々状況に応じて、最善と考えられる対策を講じてきたところでございます。</p> <p>現在、国の分科会において、変異株の状況やワクチンの有効性などの知見をもとに、新たなステージの考え方について検討が進められていることから、道としては、こうした国の議論も踏まえながら、感染者の抑制に向け、引き続き、機を逸することなく、必要な対策を講じてまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>【再質】 菅首相の退陣を前に、新型コロナ対策で知事は、菅政権には課題があったと指摘するはなむけの言葉を送る一方で、知事ご自身は、最善と考えられる対策を講じてきたと言い放ち、ご自身についての反省と課題は何も示されておりません。それでなぜ、第5波のような大きな感染が広がったのか、医療のひっ迫を招く結果となったのか、説明が尽くされていないではありませんか。国の判断に振り回され、対策が後手に回ったことや、反省すべきは反省し、しっかり検証し、これからの対策に生かさなければなりません。宣言解除後の対策にどう生かそうとしているのか伺います。</p> <p>【再々質】 昨日の政府分科会で尾身会長は、リバウンドの予兆があった際の機動的な対応を求めています。行動制限の緩和の発信と同時に、その指標と具体的対応も示すべきではないかと考えますが、知事が常日頃、最善の判断をしているのであれば、どういう最善の判断をしているのか、この点についてはお聞きしたいと思います。</p>	<p>【知事】 感染拡大への対応についてであります。道としては、これまで、変異株の置き換わりが進み、全国的に感染が拡大する中、感染防止対策の徹底や人流の抑制、さらには、ワクチン接種の促進など、有識者の皆様のご意見等もいただきながら、その時々状況に応じて、最善と考えられる対策を講じてきたところ。</p> <p>引き続き、国の分科会における変異株の状況やワクチンの有効性などの知見をもとにした新たなステージの考え方についての議論も踏まえながら、機を逸することなく、必要な対策を講じてまいります。</p> <p>【知事】 今後の対応等についてであります。道では、新規感染者数等の指標や講ずべき措置を設定した警戒ステージに基づき、日々、感染状況等についてモニタリングを行っているところであります。今後においても、国の新たなステージに関する考え方を踏まえすとともに、その時々感染状況等に応じ、有識者や市町村の皆様のご意見を伺いながら、適切な対策を講じてまいります考えでございます。</p>